

三重病院の予防接種外来について

▶三重病院の小児科外来には、予防接種という外来があります。この三重病院ニュースレターの最後のページの小児科専門外来の担当医表を見て頂きますと、予防接種外来の火曜日と木曜日の欄には、それぞれ“予防接種センター”“シナジス”と書かれています。なんだかわかりにくいですね。そこで今回は予防接種外来の説明をしましょう。

月曜日、水曜日、金曜日の予防接種外来について

三重病院にかかりつけの患者さんが受診されることもありますし、かかりつけでない方の受診も可能です。皆さんご存知のように、ここ数年、新しいワクチンが日本に次々と導入されました。ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、ロタウイルスワクチン、子宮頸がんワクチン、注射のポリオワクチン(不活化ポリオワクチン)、四種混合ワクチン(三種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンが追加されたもの)、覚えるだけで大変です。その他に、B型肝炎ワクチンが子どもに任意接種されるようになりました。多くのワクチンの導入により、予防接種スケジュールも複雑になってきました。当外来を受診して頂ければ、ワクチンの説明や、スケジュールの計画をさせていただきます。

火曜日の予防接種、“予防接種センター”について

正式には、三重県予防接種センターといいます。三重県予防接種センターは、平成13年に県の委託を受けて、接種要注意者や過去に予防接種で副反応を認めた患者さんであっても、予防接種を受けられるように三重病院内に設立されました。当センターでは、一般市民や市町村、企業、他の病院の医師などから、予防接種に関する電話相談を受け付けています。

相談内容としては、卵アレルギー、薬剤アレルギー、予防接種後副反応、海外へ行く前の予防接種(渡航ワクチン)などです。相談のみで終わることもありますし、当センターでの接種が必要であれば、外来受診の予約をして頂きます。近年、渡航ワクチンの需要が急激に増え、現在は主に渡航者外来として機能しています。火曜日に受診することが難しい方は、相談にて、月曜日や金曜日に受診して頂くことも可能です。渡航者外来の詳細な内容については、インターネットホームページの

<http://www.hosp.go.jp/~mieh/vaccination/>を参考にしてください。

木曜日の予防接種、“シナジス”について

シナジスは、RSウイルス感染症を予防するためのワクチンではなく、薬剤(抗体製剤)です。「抗体(抵抗力)」は感染を受けることやワクチンを接種することにより体内でつくられるものですが、RSウイルスに対して有効なワクチンは開発されていません。シナジスは、遺伝子組み換え技術を使用して試験管内で作成されたRSウイルスに対する「抗体」であり、これを注射することにより、RSウイルス感染症の重症化を防ぎます。シナジスを接種する患者さんは限られていて、医師から接種が必要と言われた方だけが対象です。

▶先ほども触れましたが、ここ数年は新しいワクチンが次々と登場してきています。新しく導入されたワクチンの事や同時接種の安全性、接種スケジュールの予定などについて、分からないことがあれば、お気軽にご相談下さい。(小児科 浅田 和豊)



医療福祉相談室 だより



職種のスタッフとともに支援をさせていただきました。この約2年半の間に医療と地域の仕組みが急速に変化して

～退院調整看護師長異動のお知らせ～

平成24年4月から退院調整看護師長として勤務しておりましたが、10月より病棟へ異動となりました。これまで微力ながらも、外来や入院の患者さま・ご家族さまに、様々な

いることを感じています。たとえどのように変化しても医療チームが正確な情報をキャッチして、患者さま・ご家族さまが安心できる支援を提供することが必要です。退院調整看護師長として学び得たことは、「しっかり患者さま・ご家族さまの話を知ること」、「様々な職種の意見を確認すること」、「チームとして患者さま・ご家族さまに寄り添えること」です。自分ができることをしっかり考え今後も邁進していきたいと思っています。

(9月まで退院調整看護師長 川上 千代)